

今号では各エリアの地域おこし協力隊*の中でも、地域観光の再生にむけて活動している5人の隊員に、活動内容や成果、今後の展望など「地域観光再生」にかけの強い思いを聞いた。

の再生。

*地域おこし協力隊は、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に移住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PRなどの地域おこし支援や、農林水産業への従事や支援など「住民協力活動」を行いながら定住や定着をはかる組織。

士幌町

地域おこし協力隊

金森隆博さん

1963年生まれ、神戸市出身。神戸市内に本社を置く大手飲料メーカーで商品企画やマーケティングに従事。その経験を生かし、今年4月に着任した協力隊では観光協会事業支援員として観光振興や地域経済の活性化に取り組む。趣味はフライフィッシング。



旅人にも地域の人にも喜ばれる仕組みをチャリティたびしほろ

今年5月、日本を代表する自転車道「ナショナルサイクルルート」に、十勝管内12市町村を通過する「トカプチ400」が指定された。それが追い風になり、今、十勝では自転車を活用した観光振興が活発化。士幌町では、8月よりレンタサイクル事業「チャリティたびしほろ」がスタートし、その仕組みづくりやモデルコースの選定などに奔走した一人が金森さんだ。旅で訪れた人が、自転車に乗りお店や施設を利用し地元の人と交流する。地域の人にも喜んでもらう。地域の人にも喜んでもらう。来年度の本格始動に向けた内容の充実を図っている。



A マプカの里からの景色は圧巻。体力に自信がある方にオススメ

Information
しほろ高原マプカの里
士幌町字上音更21-173 ☎01564・5・4274
営業時間 / 10:00～16:00 (ロジックマフカ)
<https://www.nupuka.jp/>



B 最新モデルの電動アシスト自転車などを用意し、利用者には飲食店クーポンを配布中

Information
チャリティたびしほろ(士幌町観光協会)
☎01564・5・5213 (平日9:00～17:00)、
チャリティ専用ダイヤル
☎080・4047・5213 (金・土9:00～17:00)
貸出場所 / 道の駅びあ21しほろ
貸出期間 / 4月下旬～10月末日
<https://www.shihoro-kankou.jp/>



中標津町

地域おこし協力隊

齊藤美葵さん

1990年札幌市生まれ。札幌の高校を卒業後、上海の大学へ入学。国際経済貿易を学び、卒業後は不動産業、旅行業、メーカー営業職などを経験し、2020年1月より中標津町地域おこし協力隊として、観光業・PR活動を行っている。(2020年にこの事業の為に、バイクの免許取得!)

「ライダーの聖地・開陽台」を歓迎する町へ

中標津町にある開陽台は、1980年代には駐車場をバイクが埋め尽くすほど活気にあふれたライダー憧れの聖地だった。それから約40年が経過し時代も変わり、展望館のリニューアルなども含め観光地化されてきた一方、全盛期の頃と比べライダー離れが進んだ。そんな事情を知り、なかしべつ観光協会では2020年度より(公社)北海道観光振興機構「地域の魅力を活かした観光地づくり推進事業」の支援を受け、「ライダーの聖地・開陽台」を復活させようと開陽台でのイベントの開催やオリジナルグッズの販売、無料ライダーフラッグ配布など中標津町のPRも含め精力的に活動している。

A 開陽台展望館

Information
標準部中標津町字俣落2256-17
☎0153-73-4787
営業時間 / 4月下旬から10月末 9:00～17:30
(10月は16:30まで)
<https://www.nakashibetsu.jp/>



B オリジナルグッズの販売、無料ライダーフラッグの配布

Information
なかしべつ観光協会
中標津町東14北1 ☎0153-77-9733
営業時間 / 8:30～17:15 (平日)
定休日 / 土・日曜、祝日
<https://kaiyoudai.jp/>



JIMOTO新聞 2021 Autumn・Winter

北海道農業公社

(農地中間管理機構)

農地の貸し借りをしませんか

地域の話合いを通じた集積・集約化

機構集積協力金

要件を満たせば、機構集積協力金の交付が受けられます。

- 人・農地プランの話合いを通じて、地域内のまとまった農地を農地中間管理機構に貸付け、担い手への農地集積・集約化を図る場合に協力金を交付します。
- (1)集積・集約化タイプ
機構を活用して担い手への農地集積・集約化に取り組む地域を支援します。
- (2)集約化タイプ
担い手同士の耕作地の交換等により農地の集約化に取り組む地域を支援します。

- 農地中間管理機構に農地を貸付けることにより、
- ・経営転換する農業者
- ・リタイアする農業者
- ・農地の相続人
- に対して協力金を交付します。

固定資産税の軽減

所有する全ての農地を新たにまとめて機構に10年以上貸付けた場合、当該農地の固定資産税が一定期間1/2に低減

農地を貸したい



- ①公的な機関なので安心
- ②期間満了後は農地が戻ります
- ③機構集積協力金が受けられます(要件を満たした場合)

市町村・農業委員会・JA

連携

(公財)北海道農業公社
(農地中間管理機構)

農地の借受け

農地の貸付け

受け手の募集・登録

必要に応じた保全管理

農地を借りたい



- ①規模拡大や集約化により生産性向上
- ②出し手が複数でも賃料の支払は機構へ一括
- ③権利関係が不安定な所有者不明農地等の利用

各市町村の農政主務課・農業委員会、または北海道農業公社まで、お気軽にお問い合わせ下さい。



公益財団法人 北海道農業公社

☎011-252-7025
札幌市中央区北5条西6丁目1-23

WEBからのアクセス・検索は下記をご利用ください。

<https://www.adhokkaido.or.jp/>

北海道農業公社

検索

モバイルの場合は
右記の二次元コードを
読み取り下さい。

